

○地元プログラム提案調書

施策型提案

提案名	A-1 農業・6次産業化の取組		○位置図
テーマ	⑤ 持続可能な開発 ⑦ 貿易・投資・観光		
対象	首脳夫妻		
実施場所	ワンダーファーム		
会場からの移動手段	車		
会場からの所要時間	移動時間：片道約30分 ※視察等の時間は弾力的に設定可能		
提案趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ●2016年5月にオープンしたワンダーファームは、地域産業の発展や担い手の育成を目指して、トマトの生産から加工、販売まで一貫して手掛ける6次産業化を行っている。また、ビュッフェスタイルのレストランでの地元農産物の提供や、料理教室やスポーツ大会等様々なイベントなどで誘客促進を図っており、新たな観光産業の参考になると考えられる。また、「食のおいしさと安全性」を世界に発信することで、今も残る風評の払拭を図る狙いもある。 ●トマトの栽培は、「太陽光利用型植物工場」と呼ばれる施設で行われ、オランダから導入された土を使わないヤシガラを利用した栽培システムで、ハウス内の温度、湿度、溶液量の調整などコンピューター制御で行われており、計画的な生産が可能な状況であることから、持続的な生産につなげることができる。 		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●ワンダーファームの視察。 ●栽培施設、加工施設の状況や取組内容の説明。 		
期待できる効果	島嶼国	新たな観光産業の可能性を探る一助となる。 また、コンピューター制御による計画的な農産物の生産により、持続可能な安定した農業の実現性を高める狙いもある。	
	被災地	食のおいしさと安全性を世界に発信できる。	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ●ワンダーファームでトマトの収穫体験も可能。 ●また、ワンダーファームを牽引する元木代表を中心に、地元の若手農業従事者の取組状況の提供も可能。 ●子どもたちをはじめ、市民が最大限関わられるよう関係機関・団体と調整を図る。 		

● JRとまとランドいわきファーム

日本でも日照量の多い、いわきで、「太陽の恵みをたっぷりと浴びたサンシャイントマト」を通じ、生産者と消費者を繋げたいという思いで、フルーツトマトやミニトマトなど、全部で9種類のトマトをいろいろな品種を栽培している。オランダから学んだ最新鋭の設備を備えた大型の溶液栽培温室（敷地面積2.5ha。サッカーコート3.5面分）の広大なトマトファームにおいて、トマト収穫体験が可能。



● 森のあぐり工房（加工工場）

生食用トマトを使ったジュースやピューレなどの加工工場。ワンダーファームの加工品は、ジャム、ジュースから調味料に至るまで、全てこの加工工場で作られている。工場見学も可能。



● 森のマルシェ

トマトをはじめとした地元の野菜や名産を取りそろえた直売所。カフェも併設しており、パティシエのオリジナルスイーツも販売している。



● 森のキッチン（ビュッフェレストラン）

新鮮なトマトを使った料理を中心に、地域の旬の食材を使ったメニューや本格的な石窯での焼きたてのピザを提供。木調の明るい空間でシェフ自慢の料理を楽しむことができる。

